



中井会長(右)の案内で旧日向別邸を見学する水原さん(右から3人目)＝春日町

旧日向別邸

タウトと父の合作熱心に

「欧州と日本の融合を感じる」

国内唯一の弟子
故水原徳言さん

長女が初来訪

熱海市春日町の旧日向別邸(ブルーノ・タウト熱海の家)に9日、日本におけるタウトの唯一の弟子と言われる水原徳言さんの長女、水原冬美さん(群馬県高崎市)が訪問。旧日向別邸保存会の中井正勝会長の案内で、タウトが設計した地下室を見学した。

旧日向別邸は実業家の日向利兵衛の別荘の離れとして1936年に建てられた。地下室はドイツ出身の建築家ブルーノ・タウトの設計で、水原徳言さんは建設の際に全面的に協力し、その完成に尽力した。昨年12月に98歳で死去した。冬美さんは徳言さんの長女でタウトの研究者でもある。

保存会からの招きもあり、父のかかった建築物を見学するために今回初めて、旧日向別邸を訪れたという。

仙台市でタウトの研究に取り組み、徳言さんとも親交のあった庄子晃子東北工業大教授、保存会

熱海新聞

熱海新聞

熱海市上宿町11-4
〒413-0018
電話0557(81)0648
電話0557(81)2134
FAX0557(83)3553

伊豆新聞本社

〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話0557(36)1234

ホームページ

<http://www.izu-np.co.jp/>

わがまま
そのまま
快適なバスの旅



*ご乗車に際しますとご乗降下さい。
子供会・町内会・スポーツ
遠征等にご利用下さい!

株式会社 ニッコー
熱海市下多賀567-1
TEL0557-67-2525

所記念病院

2年前男性が浴槽

遺族が刑事

熱海市昭和町の医療法人社団熱海所記念病院で、2008年7月に死した男性の遺族が9日まで、病院の安全管理に問題があったとして理事長と院長らを業務上過失致

みの技術などを説明した。洋風客間では壁に使われている深紅の絹地について「この色を出すのに徳言さんが苦労されたようだ」と語った。

冬美さんはカメラを手に、父がかかった建築物を熱心に見て回った。「写真を見ていただければ、洋風客間の壁の色は実際に見た色とは違う。全体的に、ヨーロッパ的感覚の興行きと、日本文化を本質的にわかっていない人ではないとつかめないような興行きの両方がミックスされているように感じる」と感想を語り、また「タウトはただ者ではないと思う」と話した。

旧日向別邸は実業家の日向利兵衛の別荘の離れとして1936年に建てられた。地下室はドイツ出身の建築家ブルーノ・タウトの設計で、水原徳言さんは建設の際に全面的に協力し、その完成に尽力した。昨年12月に98歳で死去した。冬美さんは徳言さんの長女でタウトの研究者でもある。

中井会長は「水原さんや庄子さんを迎えたことをきっかけにして、今後は熱海、高崎市、仙台市と、タウトにかかわる各地の人たちとの文化的交流につなげていきたい」と話した。